

2006
10
October

おいし-OEC- ニュースレター

NO. 8

NPO法人おきなわ環境クラブ



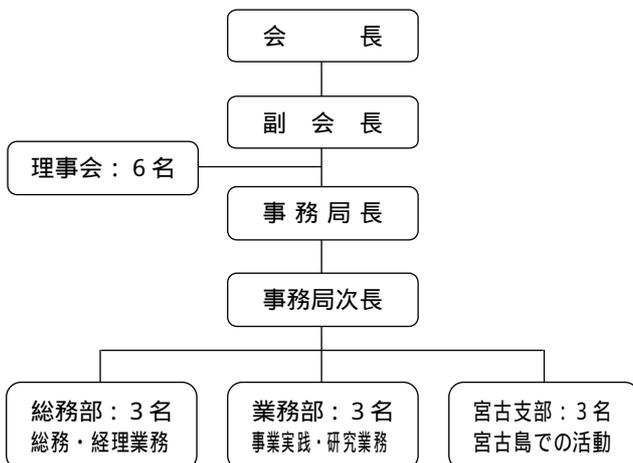
皆様、お久しぶりのニュースレターです。ずいぶん長いことお知らせを出すことができずに、ご心配をおかけしました。この一年間の活動を振り返ると、おきなわ環境クラブ(OEC)の基盤を作るうえで、とても大切な時期だったと思います。

OECは、約7年前に「水辺の環境保全」をコンセプトに市民団体として立ち上がりました。活動が広がりを見せる中で、4年前にNPOとして法人格を取得し、その後、助成金事業や受託事業を中心に環境保護や啓発活動、人材育成などをおこなうなかで、今後のOECの活動をささえる知恵と基盤の構築をおこなってきました。

10月からは、大城逸朗新会長をはじめ新理事の就任で役員体制が新しく生まれ変わりました。また、事務局に新しい職員をむかえて一緒に楽しく活動をするようになりました。今回のニュースレターでは、新会長のご挨拶も紹介しながら、会員の皆様をはじめ、これまでにお世話になった方々と一緒に、OECの約半年の活動をふりかえり、今後の活動につなげていきたいと思ひます。

おきなわ環境クラブ 事務局

新しい組織図



琉球列島は汚染列島か?



アジア大陸の東の縁に位置する琉球列島は、さまざまな特徴を持っています。琉球列島の島々をつくる地層に島尻層(方言で「クチャ」と呼ばれる灰色の粘土層)というのがあります。この粘土は、中国大陸のはるか西の天山山脈が削られ、それがゴビ・砂漠となり、そこから長江に流れ込み東シナ海にはきだされました。やがて厚く積もり、隆起してできたのが沖縄島の南部や宮古島の地層です。同じように沖縄の赤土も、中国大陸の奥地で巻き上げられた砂塵(黄砂)がジェット気流に乗って飛来し、数万年の歳月をかけて積もり、変質したものです。

また、毎年定期的に台風がやって来ます。この空気の渦は、コマのように回りながら位置を変え、不思議に沖縄付近で方向を変え、やがて消えてしまいます。そして、太平洋の豊富なプランクトンとともに「黒潮」が我が国にやってきます。この潮の流れが日本人を魚好きの国民にしました。しかし現在、黒潮は、南の国や中国大陸から招かざる客も運んできます。琉球列島の白砂青松の海岸を埋め尽くしているペットボトルや廃材をはじめ、あらゆる生活廃棄物などのゴミがそれです。琉球列島は、天上からは砂塵や排気ガスがジェット気流に乗って飛来し、足元では川や海から生活廃棄物が流れ着く、地理的に最悪なところでは、だからこそ人一倍環境に関心を持つことが大切です。環境を守ると言うことは、自らの命を守ることにほかなりません。命を守るため、共に行動しようではありませんか。私も微力ながら、会長として力を尽くしたいと思います。

平成18年10月1日
会長 大城逸朗



最近の活動(2006年1月~8月)

助成金事業

地球環境基金助成(独立行政法人 環境再生保全機構)

- 3/26 宮古島・川満のマングローブ観察会 場所:宮古島市川満ウブカーマングローブ遊歩道 人数:20名
6/27-28 宮古島・かわみつのマングローブかんさつ会 場所:宮古島市川満ウブカーマングローブ遊歩道 人数:36名
7/10-14 おきなわバリエーションフェスティバル2006 場所:那覇市国場地域
7/1,15,17 宮古島・地下ダム博士養成講座(全3回) 場所:地下ダム資料館 人数:30名
7/22 宮古島・星空観察会&サガリバナ鑑賞会 場所:宮古少年自然の家,添道サガリバナ群落 人数:50名
7/26-30 青森朝日放送「北野大のえーコロジ-」番組取材対応 場所:那覇市内,うるま市,大宜味村
8/8 宮古島・夏の臨海学校2006 マングローブ観察 場所:川満ウブカーマングローブ遊歩道 人数:30名
8/16 宮古島・夏休み子ども吟行会 場所:川満ウブカーマングローブ遊歩道 人数:35名

Panasonic & EFF 環境サポーターズ マッチング基金(松下電器産業株式会社)

- 7/28 中間報告会出席 OEC 下地事務局長 場所:東京・パナソニックセンタービル

日本郵政公社年賀寄附金配分助成事業

- 6/27 環境教育のための軽自動車配備 場所:おきなわ環境クラブ国場事務所

沖縄県地域離島振興課 全国地域づくりネットワーク事業

- 2/10 地域づくり団体全国研修交流会沖縄大会第9分科会 場所:那覇市久茂地公民館 人数:70名

受託事業

沖縄県地域環境セミナー 毎月1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 4/29 第1回「漫湖の自然と環境」OEC 下地事務局長 場所:漫湖水鳥・湿地センター 人数:36名
5/27 第2回「沖縄の海岸干潟の話」鹿谷麻夕先生 場所:南城市文化センター/シュガーホール 人数:33名
6/26 第3回「宮古の湧水の生物」藤田喜久先生 場所:庁4階,第1-2会議室 人数:26名
7/21 第4回「おきなわの珊瑚礁の話」西平守孝先生 場所:県庁4階,第1-2会議室 人数:32名
8/26 第5回「宮古島水環境ミニシンポジウム」 場所:宮古島市中央公民館 人数:37名

地域環境センター・出前講座 毎月1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 4/26 第1回「考えよう身近な環境から」稲福勉先生 場所:鏡原中学校体育館 人数:180名
5/30 第2回「私達の国場川をきれいにしよう」上地澄子先生 場所:仲井真中学校体育館 人数:194名
6/17 第3回「サワフジの講話と観察」OEC 下地事務局長 場所:西原町東児童館 人数:33名
7/14 第4回「身近な環境を知ろう私達の生活排水はどこへ」小波津昭子・根川八重子先生 場所:西原中学校体育館 人数:228名
8/18 第5回「小湾川の生き物調べ隊」比嘉宥海先生 場所:浦添市小湾川中流・あじさい公園 人数:27名

地域環境センター・野外観察会 2ヶ月に1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 5/13 第1回「末吉の森にいこう」藤井晴彦先生 場所:末吉公園 人数:33名
7/29 第2回「やんばるへ水生生物調査に行こう」屋嘉比柴紀・保村亨先生 場所:大宜味村平南川 人数:50名

独立行政法人国際協力機構(JICA 沖縄国際センター)

- 1/23-3/2 地域別集団研修 第3回持続可能な観光開発(カリコム諸国)コース 人数:9名
4/10-6/16 集団研修 第3回熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営コース 人数:11名
7/3-10 国別研修 メキシコ国ユカタン半島湿地保全プロジェクトカウンターパート受入 人数:2名
8/3-15 カリブ諸国プロジェクト形成調査 調査団へ OEC 吉田研究員を団員として派遣

自主事業(環境教育・エコツーリズム事業)・その他

- 5/9 県立沖縄工業高校 総合学習『沖縄の歴史と観光』屋宜マサ子先生 場所:県立沖縄工業高校体育館 人数:100名
5/21 小城婦人会『バスで行く!東御廻いの旅(主催:IA-沖縄)』ガイド:保村亨 場所:首里,東風平,知念,玉城,佐敷
6/5 RBCi ラジオ『月曜フォーラム・環境討論番組へラジオ出演』OEC 下地事務局長 場所:RBCi ラジオスタジオ
6/11 屋良っ子・夢・スクール『研究者の仕事』OEC 下地事務局長 場所:嘉手納町立屋良小学校 人数:15名
7/17 TBS ラジオ『バトルトーク・ラジオアクセス「観光と環境保全は両立するか」へ全国生放送出演』OEC 下地事務局長 場所:RBCi ラジオスタジオ
8/13 とはしな子ども会『夏休み世界遺産めぐり』ガイド:屋嘉比・保村・与儀 場所:斎場御嶽・中城城跡・勝連城跡 人数:52名
8/19 真和志わかば子ども会 夏休み・やんばるバスツアー 場所:東村慶佐次,大宜味村平南川 31名

～(活)動も少しだけくわしく(紹)介(介)しましょうね～

宮古島・夏休み子供吟行会(地球環境基金助成)

宮古島ジュニア俳句育成会と共催で、宮古エコガイドが講師を勤め、川満の自然を題材とした子供吟行会がおこなわれました。子供達がマングローブや、その周りに生きる動物などを見て俳句にするというツアーで、大人には思いつかないような子供ならではの目線で五七五の俳句にしていました。

短い時間の中にもかかわらずマングローブの特徴を活かした句など、沢山できていました。『羨ましい ヤエヤマヒルギの 長い足』『あかいカニ ベニシオマネキ てれてるぞ』など、とても良かったです。夏休みという事もあって、子供達には良い思い出になったことでしょう。



環境教育のための軽自動車配備(日本郵政公社年賀寄付金配分助成)

当クラブ待望の車両『ニューマッハ号』を日本郵政公社の年賀寄附金より配分助成を受け購入をしました。OECでは、この車両をマングローブ保全や水辺の緑化などの実践活動、観察会やセミナー、講習会、ワークショップなどに用いる機材の運搬、そして人員の移動や連絡調整のための足として、早速、活用しています。

ニューマッハ号の配備によって、自然の体験学習や環境教育など、これまで以上に活動範囲が広がり、より効果的な啓発活動が展開していけるものと期待しています。ただいま、マッハ号の楽しいデザインを募集中!

第1回沖縄県地域環境セミナー『漫湖の自然と環境』

県庁4階にある沖縄県地域環境センターでは、今年度から県民等の環境保全意識の高揚を図ることを目的として、『環境普及啓発活動』を実施しています。OECは、当センターの管理・運営を受託するとともに啓発活動の企画運営をおこなっています。

記念すべき第1回では開会式を行い、環境政策課長に主催者あいさつを、担当の方に啓発事業の説明をしていただきました。今後も県内各地で、セミナーや出前講座、観察会の開催を予定しています。詳しくは沖縄県地域環境センターまで Tel.098-866-2638又は<http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/kankyo-center/>



第4回出前講座『身近な環境を知ろう,私たちの生活排水はどこへ』

生活排水対策指導員(西原町)を講師に、西原中学校1学年の総合的な学習の時間に体育館で講話が行われました。町における“生活排水”の現状や課題の話をするだけでなく、他市町村との比較やそれらの地域に与えている影響などについても説明をしました。また、生徒にとって身近な活動事例(西原中1学年のこれまでの取り組み)を挙げ、各家庭の処理状況について問うなど、子どもたちにわかりやすく飽きさせない工夫がありました。

最後の生徒からのお礼の言葉では、「今まではゴミさえ拾えば海や川はきれいになると思っていたけれど、これからは家庭からでる生活排水にも気を付けていかなければいけない」と話してくれました。

JICA 集団研修『熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営コース』

熱帯・亜熱帯地域の観光・環境分野の政府職員やNGO担当者を対象に、自然・文化・歴史資源をいかしつつ環境に負荷を与えないエコツアーを企画・運営のできる人材育成の研修を実施しました。沖縄国際センターや県庁での講義をはじめ、西表島、国頭村、東村、本島南部、山梨県清里、静岡県富士山北麓などで実習・視察をおこない、自国の課題解決にむけたアクションプランを作成しました。

今年で3回目をむかえた当研修。今後、研修員に帰国後の活動や成果・課題を報告しながら研修に参加してもらい、更に私たちも一緒に勉強するなかで、沖縄の課題解決につなげられるようにしていきたいと思ひます。



沖縄【】ツアーガイドVOICE (2期生)

幼少の頃、遊び育った漫湖干潟を通して、沖縄の自然や文化、歴史に興味を持つようになり、エコツアーガイドの資格を修得し、早3年目を迎えました。地域の人達や県外の旅行者、海外の研修生等に自然や文化遺産(世界遺産)を案内しています。歴史的背景や関わった人物を鮮明に思い起しながら説明するのですが、暗記するのに大変時間が掛り、又、自然の動植物や小さな生物の名前を暗記するのも大変でした。私は時間の許す限り、自然や遺跡散策に出掛けるのが好きです。おかげで足腰も丈夫になりました。又、見たり、触ったりと五感に触れるので、ボケ防止にもなるのでは...



ガイドをして感じた事：修学旅行生や海外の人達から貴重な意見や感想等を貰った時はとてもうれしいですね...

「最後に一言」：この沖縄のすばらしい自然を、一人ひとりが意識してもっと大切にしよう！！

(沖縄エコツアーガイド：上地澄子)

今月の(沖)縄の(薬)草

和名：リュウキュウヨモギ (キク科)

学名：Artemisia campestris L.

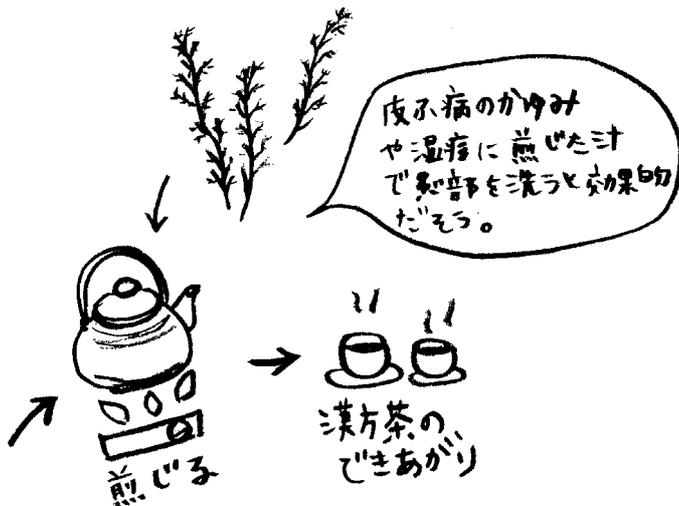
方言：ハママーチ、インチングサ

効用：黄疸、肝炎、腎臓、熱さまし

クチナシの果実と一緒に煎じて服用されることが多いようです。

本来、川岸や海岸沿いに自生をしていますが、最近の護岸工事で姿を消しつつあります。

お庭で栽培する場合、繁殖力があるので挿し木でどんどん増やせます。



～今後の(主)な予定～

☙ 沖縄県地域環境センター

- ・地域環境セミナー開催(毎月1回)参加無料
10/20(金) 14:00~16:00 県庁4F第1・2会議室
『おきなわの植物入門(1)』講師:新城和治先生
- ・野外観察会(2ヶ月に1回)
次回は11月中旬頃、沖縄本島内で予定

☙ 地球環境基金助成

- ・12/9(土)宮崎県で中間報告会

☙ おきなわアジェンダ21 県民環境フェアで出展

- ・11/25(土)・26(日)沖縄こどもの国

☙ 那覇市国場川水あしびで出展

- ・12/9(土)漫湖水鳥・湿地センターとその周辺

☙ JICA 研修事業

- ・10/30~12/7 島嶼国漁村主導型水産業多様化促進コース
- ・1/29~3/9 持続可能な観光開発(ミクロネシア3国)コース

今年も「環境フェア」や「国場川水あしび」イベントが開催されますが是非とも参加しますので是非とも皆様お誘いあわせのうえ遊びにいらして下さいね!



OEC(おいしー)ニュースレター No.8 2006年10月発行

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 国場事務所

〒902-0075 沖縄県那覇市国場 370-107 Tel. 098-833-9493, Fax. 098-833-9473

E-mail. oec@mc3.seikyoku.ne.jp URL. http://www.npo-oec.com/

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 宮古支部

〒906-0301 沖縄県宮古島市下地字川満 1026

Tel & Fax 0980-76-2696 E-mail oec-m1@miyako-ma.jp

